

- 1 主題名 友だちっていいな 低2-(3) 【友達と仲良くし、助け合う】
資料名 モムンとヘーテ (光文書院)

2 主題について

○ このような価値の追求を

本主題は、「友達との間に信頼と友情及び助け合いの精神をもった児童を育てようとする」内容項目を受けたものである。

人は、一人で生きているのではなく、家族や友達とかかわり合いながら生きている。明るく楽しい生活を営むためには、信頼関係で結ばれた豊かな人間関係を築いていくことが大切である。友達は家族以外で特に関わりを深くもつ存在であり、世代が同じ者同士として、似た体験や共通の話題、互いの考え方などを交え、豊かに生きるための大切な存在として、成長とともにその影響力を拡大させていく。このようなよい友達関係を築くには、互いを認め合いながら、学習活動や生活の様々な場面で、困っている友達がいたら助けようとする、助けた友達が喜んでいる姿を見て自分もうれしい気持ちになる、がんばっている友達を応援する、といった相手を意識した気持ちを大切に育てていくことが重要である。

この段階においては、身近な友達と学級での生活を共にしながら仲良く遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ね、友達と仲良く活動し、助け合うことの大切さを実感できるようにすることが重要である。

そこで、本主題では、相手の立場や気持ちに目を向けていくことを重点にしながら、友達と仲良く助け合い励まし合いながら生活しようとする心情を育てていきたい。

○ このような子ども達だから

本学級の子ども達は、生活科や体育の時間におけるグループ学習、係活動、休み時間などにおいて、困っている友達がいたらやさしく声をかけたり、励まし合ったりしながら活動している。これらの活動を通して、友達との関わりに目を向け、友達にやさしくされてうれしかったことや励まし合いながらがんばったことを見つけ、帰りの会で発表する子どもが増えてきた。また、心のノートの「ともだちパワーをあつめよう」に、友達に助けてもらったことや友達に励ましの言葉をかけてもらったことを記録するようになってきている。しかし、その一方で困っている友達がいても気付かずそのままにしていたり、気付いても助けようとせず自分本位な行動をとってしまったりすることもある。これは、友達の立場や気持ちに目を向けることが十分できていないためであると考えられる。

そこで、友達との関わりに広がりや深まりが見られるようになったこの時期に本主題を取り上げ、友達の立場や気持ちに目を向けていくことの大切さに気付かせ、友達と仲良く助け合い励まし合いながら生活しようとする心情を育てていきたい。

○ 資料をこのように活用して

本時の中心資料「モムンとヘーテ」は二人で力を合わせて取り出したくりの実を独り占めにされ、くりの皮だけ渡され怒っていたモムンが、大雨の中、自分の荷物を捨てくりの皮の船に乗せて助けるという内容である。

指導にあたっては、心から謝っているヘーテを許し、荷物を捨てて一緒に逃げているときの気持ちに共感させながら、ねらいとする道徳的価値を追求していきたい。

そのために、まず、くりの実を独り占めされ、怒っているときの気持ちをとらえさせたい。次に、ヘーテをなかなか許すことができず、助けるかどうか迷っているときの気持ちを共感的にとらえさせる。さらに、荷物を捨て、ヘーテを助けて一緒に逃げているときの気持ちを考えさせ、友達と助け合うと相手も自分もうれしい気持ちになることを感じ取らせることを中心に道徳的価値の把握を図りたい。

そして、自分の生活の中で、友達がいてよかったと思ったことを振り返り、道徳的価値の内面的自覚を図りたい。

3 本時のねらい

友達の立場や気持ちを考えて助け合おうと、自分も相手もうれしい気持ちになることに気付き、友達と仲良く助け合っていこうとする心情を育てる。

4 本時指導について

学校の諸活動との関連【事前】	ねらい	友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の諸活動において、ねらいとする姿を見つけたら、そのよさを伝えたり、賞賛したりする。 ○ 友達との関わりの中で感じた気持ちを心のノート「ともだちパワーをあつめよう」に記録させる。

発達段階に応じた語り合い【心がわかる】	ねらい	モムンがヘーテの立場や気持ちに目を向け、助けたことでうれしい気持ちになっていることに共感させる。
	内容	ヘーテを助けたときのモムンの気持ちについて
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役割演技 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師がヘーテ役を演じ、黙ったままのときのモムンの気持ちを問いかけたり、お礼の言葉を投げかけたりすることにより、ヘーテの立場や気持ちに目を向け、助けたときのうれしい気持ちに共感できるようにする。 ・ 二人組で役割交代をすることにより、ヘーテの立場や気持ちに気付いたモムンに共感できるようにする。

いきいきとした振り返り【心がはたらく】	ねらい	自分の生活の中で、友達がいてよかったと思ったことを振り返る。
	関連する諸活動とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ともだちパワーをあつめよう」の取組と、帰りの会での発表 → 休み時間に一緒に遊んで楽しかった。 ○ 生活科「たんけん はっけん だいぼうけん」 → 校区探検のとき、困っている友達を助けたら喜んでくれたのでうれしかった。 ○ 係活動への取り組み → 係活動で仕事を分担したり、新しいアイデアを工夫したりしながら力を合わせてがんばったらみんなに喜んでもらった。
	手だて	いくつかの活動の写真を提示したあと、道徳ノートに記述させる。

5 準備

資料「モムンとヘーテ」（光文書院）の紙芝居 道徳ノート 挿し絵
モムン・ヘーテの帽子 くりの船 写真（校区探検 係活動） ありがとうカード

6 展 開

段階	主な学習活動と内容	教師の支援や手だて	期待する子どもの反応・発言
心 が う ご く	<p>1 登場人物の様子を描いた挿し絵をもとに、本時学習のめあてについて話し合う。</p>	<p>○ 挿し絵に描かれているモムンとヘーテの表情に目を向けさせ、仲良しの友達とはどんな友達なのかについて話し合うことで本時のめあてをつかませる。</p>	<p>○ 友達と一緒に過ごして楽しかったことを思い出しながら、「なかよし」の意味を考えている。</p>
<p>めあて なかよしの友だちってどんな友だちだろう。</p>			
心 が わ か る	<p>2 資料「モムンとヘーテ」を通して、友達と助け合うときの心について話し合う。</p> <p>(1) 紙芝居を見る。</p> <p>(2) ヘーテがくりの実を全部持っていったときのモムンの気持ちについて話し合う。</p> <div data-bbox="277 763 667 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「くりの実はぼくがみんなもらおうよ」と言われたとき、モムンはどんなことを思ったでしょう。</p> </div> <p>(3) 話しかけられても黙っているときのモムンの気持ちを話し合う。</p> <div data-bbox="277 1055 667 1178" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話しかけられても黙っているモムンは、どんなことを考えているでしょう。</p> </div> <p>(4) 荷物を捨て二人で逃げて行くときのモムンの気持ちについて考え語り合いをする。</p> <div data-bbox="277 1379 667 1503" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>二人で逃げているとき、モムンはどんなことを思ったでしょう。</p> </div> <p>①教師と役割演技をする。 ②二人組で役割演技をする。 ③道徳ノートに書く。</p>	<p>○ 自分勝手なヘーテに腹を立てるモムンの気持ちに共感できるようにするためにくりの実を見つけて二人で力を合わせて中の実を取り出す場面を動作化させる。</p> <p>○ どちらの気持ちもあったけれど、友達のことを思う気持ちが強くなったことをとらえることができるようにするために、助けようという気持ちとそのままにしていこうという気持ちを構造的に板書に位置付ける。</p> <p>○ モムンがうれしい気持ちになっていることに気付くことができるために、教師がヘーテの役を演じ、モムンに語りかけていく。</p> <p>○ ヘーテの立場や気持ちに気付かせるために、二人組で役割を交代しながら役割演技をさせる。</p> <p>○ モムンのうれしい気持ちを共感的にとらえさせるために、役割演技の後、道徳ノートの吹き出しにモムンの気持ちを書かせる。</p> <p>○ 自分の経験を想起しやすいように、校区探検や係活動等のいくつかの場面の写真を提示する。</p>	<p>○ 主人公の気持ちを共感的にとらえながら、人物になりきって考えている。</p> <div data-bbox="1098 663 1417 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主人公になりきって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人で力をあわせて取り出したのに独り占めするなんてひどい。 ・ずるいな。二人で分けたらいいのに。 ・ヘーテは自分勝手だ ・もう友達じゃない。 </div> <div data-bbox="1098 954 1417 1234" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主人公になりきって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今さら、謝ったって許せない。もう口もききたくない。 ・どうしよう。心から謝っているから助けてあげようかな。 ・大切な友達だからヘーテをこのままにして自分だけ逃げることはできない。 </div> <div data-bbox="1098 1279 1417 1592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主人公になりきって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘーテは心から謝っている。 ・荷物よりヘーテが大事だ。 ・ヘーテが喜んでくれてうれしい。 ・助けてあげてよかった。 ・仲直りでできてよかった。 ・これからもずっと仲良くしたいな。 </div>
心 が は た ら く	<p>3 自分の生活の中で、友達がいてよかったと思ったことを振り返る。</p> <div data-bbox="277 1805 667 1928" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達がいてよかったなど思ったことを思い出しましょう。</p> </div> <p>4 教師の話聞き、今後の生活に意欲を持つ。</p> <p>○ ありがとうカードの紹介</p>	<p>○ ありがとうカードを紹介することにより、友達と助け合うことの心地よさに気付かせる。</p>	<p>・友達といっしょに遊んで楽しかった。</p> <p>・校区探検のとき困っている友達を助けてあげたらうれしい気持ちになった。</p> <p>・友達と助け合いながら係活動に取り組んだ。</p> <p>○ 友達からのありがとうカードを読みこれからも仲良く助け合っていこうと思っている。</p>

7 板書計画

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing lesson plan notes.

8 道徳ノート

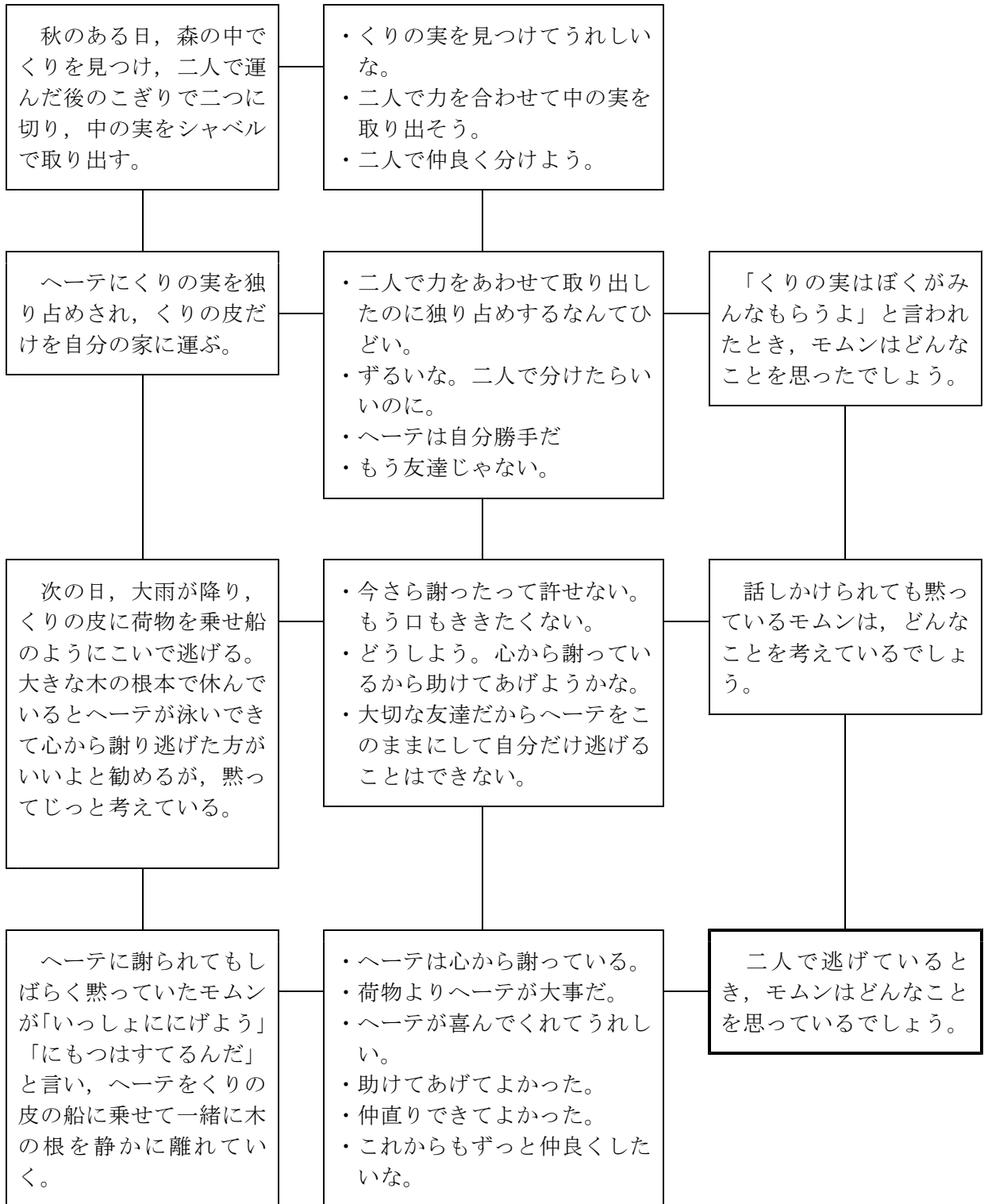
A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing moral notes.

9 資料分析

[場面]

[人物の気持ち]

[主な発問]



- 2 -

- 1 -

- 4 -

- 3 -